

編集後記

今年は、2月にバンクーバー冬期オリンピック、6月にサッカーの世界カップ南アフリカ大会と大型スポーツイベントが続き、スポーツファンには、楽しみが多い年です。

本誌が皆様のお手元に届く頃には、すでにバンクーバーオリンピックが終了しています。果たして結果は、どうでしょうか。

さて、話は変わりますが、1月25日に(財)建設経済研究所から、建設経済モデルによる建設投資見通しが発表されました。

2010年度の名目建設投資は前年度比10.4%減の37兆6900億円。実質建設投資は前年度比10.0%減の36兆8800億円と見込まれています。

実質建設投資は、40年前の1969年度の37兆8968億円を下回る水準で、ピークだった1992年度の43.5%まで落ち込む見込みです。

一方、供給側の建設業者数や就業業者数はいまだ高水準にあります。

建設業許可業者数は、国土交通省の調査結果によると、2009年3月

末で約51万業者、ピーク時(2000年3月末)の約85%。建設業就業者の数は、総務省の「労働力調査」によると、2009年が517万人で、ピーク時(1997年)の75.5%です。

建設産業は、建設投資と建設業者数のバランスが崩れて、供給過剰になっており、市場を通じた再編・淘汰が避けられない状況にあります。

今後、企業間競争が激化するなかで、生き残るには、工事生産性の向上が必要です。そして、その有効策として、情報化施工が挙げられます。

情報化施工を導入することによるメリットには、作業効率や作業精度の向上、工事時間の短縮、丁張り作業の大幅軽減、環境負荷軽減の効果、安全性の向上、夜間作業も可能などがあります。

3月号は、その「情報化施工」特集です。情報化施工に関する行政情報、およびJCMA・会員等の最新の取り組み(新技術・施工事例等)を紹介しています。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらずご執筆頂いた筆者の皆様に深く御礼申し上げます。

(藤島・斉藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

編集委員

森川 博邦	国土交通省
山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
高木 幸雄	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

4月号「仮設工特集」予告

- ・LNG船の防熱施工用船内足場
- ・東京臨海臨海大橋工事
- ・森吉山ダム貯水池横断橋下部工事 森吉山ダム ハイブリッドスリップフォーム
- ・京急蒲田駅付近連続立体交差事業 第4工区工事
- ・地中埋設物を避けて削孔する「曲がり削孔工法」
構造物直下の液状化対策とタイロップ埋設位置探査の施工事例
- ・籠状複合相対攪拌翼機構によるエボコラム-Loto工法
残置PC杭破砕工と地盤改良との併用施工事例
- ・仮設テントハウス
- ・単管足場に対する法面機械構台システム足場の優位性
- ・ラック足場(ラックレール式移動吊足場)工法
- ・作業所事務所における環境配慮技術の適用事例

No.721「建設の施工企画」 2010年3月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成22年3月20日印刷

平成22年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内
電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中央区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322